

オーディオの総合誌 ステレオ

Stereo

2010
September

9

特集

さりげなくいい音を

集中試聴

5~100万円のプリ・メインアンプを聴く



「省スペース」と「いい音」 このスピーカーカーで「挙両得！」

■鈴木裕

限りある生活スペースの中でなんとかしなければならぬのがオーディオ。たからといって「いい音」の獲得は困難だと決めつけ「妥協」という言葉に落ち着こうとするのではない。ここではスピーカーに焦点を絞り、徹底して攻めのスタイルで「省スペース」と「いい音」両得のスピーカーを追いかける！

15cm。
長いようで短く、
短いようで長い。

外出時に何かのものの大きさを計るのに、右手の親指と人指し指をL字型に伸ばした時のその両方の先同士の間隔を使ったりするのだが、自分の場合そのサイズが15cmということで重宝している。15cm。長いようで短く、短いようで長い。

今回、コンパクト&スリムスピーカーを聴いていくのだが、基準は横幅がおおよそ15cm程度以内のものを選んでいる。15cmというと、幅としてはけっこう小さいエンクロージャーだ。結果として多くが2ウェイのスピーカーシステムになった。この条件だとウーファアの直径としては6インチ半は無理

で、工夫をした5インチ、13cmが上限のようだった。ただし高さや奥行きについては基準がないので、スリムスピーカーでは高さ1m以上のものになり、コンパクトスピーカーの奥行きもエラックの282mm(グリル装着時)という、ちょっと「さりげなく」という言葉とは合わないようなものも出てきてしまった。デスクトップオーディオとか、テレビの左右とか、スピーカーの置き場所によっては高さ1m以上あっても、奥行き30cm近くでも特に問題にならない方もいらっしやるので、そのあたりは深く考えていない。

試聴テストとしてはエソテリックのRZ-1を使用。同社では「インテグレートッド・ミュージック・システム」と呼ぶコンポーネントで、CD/SACDプレーヤーを持ったプリ・メ



〈試聴に使用したディスク〉
山下達郎/SONORITE
(ワーナーミュージック・ジャパン WPCL10229)



千住真理子/愛の夢
(EMIミュージック・ジャパン TOCE55630)



エリック・クラプトン/アン
プラグド
(ワーナーミュージック・ジャパン WPCR13119)



チェックに使用したハイレゾリューション音源は、7月に発売された筆者の単行本『iPodではじめる快感オーディオ術 CDを超えた再生クオリティを楽しもう』(リットーミュージック ¥1,995)の付録DVD-ROMに収録された96kHz/24bitの音源をパソコンに取り込んだものだ



スピーカーには、プレーヤー部からアンプまでが一体となった「インテグレートッド・ミュージック・システム」、エソテリックRZ-1(¥367,500)を組み合わせ、試聴を行なった。CDソフトの他、装備されるUSB端子に接続したノート型パソコンからのハイレゾリューション音源もチェックに採用している

インアンプだ。外部からのデジタル入力も受けられ、同軸と光入力では192k Hz/24ビットに対応。またUSB端子も備えていて、パソコン等と接続することができる。この場合は96k Hz/24ビットの信号を受けられる。

試聴音源としては、CDソフトとして、山下達郎の『ソノリテ』から「マイダス・タッチ」、千住真理子（Vt）の『愛の夢』から「サバテアードゥスペイン舞曲集より（サラサート）」、エリック・クラプトンの『アンブラグド』から「ロンリー・ストレンジャー」。そして、96k Hz/24ビットの音源として、

今回は私物のパソコンを持ち込み、筆者が7月に上梓した単行本『iPodではじめる快感オーディオ術 CDを超えた再生クオリティを楽しもう』の付録のDVD・ROM。これに収録されている「サマータイム」を聴いている。これは僕がディレクションした録音で、ミッキー・Tのボーカルと、ウッドベース、ドラム、ピアノのジャズの編成を4種類のマイキングで収録。その中から今回は、ノイマンのM269をクラシックの録音のように2本だけ使ったトラックを試聴している。

設置自由度、きわめて高し コンパクトスピーカー編



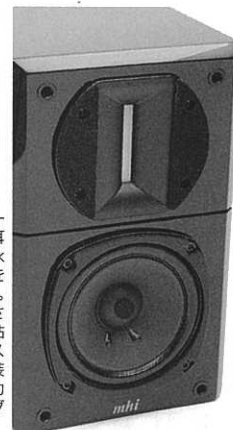
mhi
Evidence MM01A
「40kHz以上の倍音を奔放に再生してくれるのが痛快」

ウーファーはモガミ紙のコーンで4・5インチ。トウィーターはビュアルミ製リボンを採用し、クロスオーバーは10kHzだ。しっかりとしたエンクロージャは背面にバスレフポートを持ち、丁寧な塗装を施されている。



mhi Evidence MM01A
¥84,000pair※

●周波数特性：65Hz~120kHz ●クロスオーバー周波数：10kHz ●能率：90dB/2.83V/m
●インピーダンス：4Ω ●大きさ：152W×247H×229Dmm（接続端子を含む） ●重さ：4kg
●問い合わせ先：サエコマース ☎03-3588-8481
（※価格はブラック仕様の場合。ホワイト仕様は¥89,250pair）



10kHzというクロスオーバー周波数の設定は、耳の感度をもっとも良い2k~3kHz付近でのクロスを避けようという判断から。エンクロージャは厚さの異なる3種のMDFが貼り合わせられ、ポリエステル塗装とウレタン塗装が重ねられている。入力端子はバイワイヤリング対応



刺激のない、マイルドな音調が支配的なスピーカーだ。リボントウィーターの魅力があつて、ヴァイオリンのピチカートの上上がりがよく、ピアノの音も澄んでいる。低域のレンジは60Hzくらいまでだが、重みのある低音が出てくる。バスコンからの再生では高音の抜けがすばらしく、40kHz以上の倍音を奔放に再生してくれるのが痛快だった。